

# プロジェクト・チーム部 活動報告

(プロジェクト・チーム部長  
石川 賢司)

今年度は「小学校英語活動と中学校英語授業の考察と実践」の取り組みを行った。

平成23年度から小学校では、本格的に英語活動が計画的に導入される。また、それを受け中学校でも小学校との連携がさらに重要になってくる。

各地区でも、小学校と中学校の連携が活発になってきている。以前から積極的に実践を行って成果を出している地区もある。しかし、全体的には学校文化の違いで、なかなか連携がうまくできていないところもある。

昨年度、プロジェクト・チーム部は、①小学校で英語活動がどのように児童に影響を与え、②表現活動として英語をとらえているかの2点に絞って研究をした。また、③中学校の授業で、小学校の英語活動がどのように影響をし、生徒の意欲・関心に作用しているのかを検証考察に取り組んだ。

学校文化の違いで感じるのは、第一に、小学校の学級・学年単位での取り組みや学校全体での取り組みがよく認識されていない点が特徴的であった。第二に、教師は英語が専門ではないので、とても指導に不安を持っている点であった。第三に、新指導要領の小学校「外国語活動」についての読み込み不足であった。

生涯学習の視点から、幼小中、中高大の連携や一貫教育は、今後日本教育の大きな柱になり、人材育成からもきわめて大切な課題である。